

セミナー通信

教育実践総合センター



11月号

教師力アップ講座始まる!

近い将来教壇に立つP3生のニーズに応える「授業力」を磨こう」と題した実践サポートが始まりました。

豊かな経験と優れた実績のある外部講師をお招きして、プロの教師としての心構えや教科指導、学級経営等の秘訣を教示頂きます。初めて教壇に立つ不安や悩みを解消し、教師力アップを目指すセミナーです。



藤原正伸先生

第1回は、小野市教育委員会から、「理科大好き」子を育み、科学的思考を高めるために」と題しての講義をいただきました。科学する心を育むには、児童生徒に、まず「びっくり！」を体験させ、「どうして?」「調べてみたい」という気持ちを揺り動かすことが重要。そして、実験観察や検証を通して「なっとく★」し、「これを生かそう」と実生活や次の学習につなげていくことが大切だと話されました。

後半は、楽しい実験のオンパレード。しかも、実験室にある薬品ではなく、どこの家にもある身近なものを使った実験で、受講生も「ー」と「?」の連続でした。そして先生の解説に「★」しました。「今回は、子供が家でも簡単にできるものを集めて紹介した」とのことです。アサガオの色水が酸性・アルカリ性の指示薬になることや、うがい薬(イソジン)でデンプンの有無を確かめられることにも驚きました。



また、折り紙でマツの種のモデル

を作った飛ばし、植物が子孫を残す工夫を体験し、自然の不思議さに触れることができました。今回藤原先生に教えていただいた様々なことをヒントに、先生の真似ではなく、自分のものとして使いこなせるようにすることが大切です。

P3生の感想より

◆授業に生かせる楽しい実験のヒントをたくさん得ることができました。

◆ペットボトルの口を石鹼水で覆い、手で温めるだけで気体の膨張を体感できることがわかった。身近にあるものが授業に生かせることがわかり大変参考になりました。

◆「!」と「?」の連続で、「次は何?」とわくわくした。現場に出たらぜひ使ってみたいし、自分でも研究してみたいです。



大北由美先生

第2回は、三木市立別所小学校の大北由美校長先生から、「説明文の授業づくり」と題して、国語

科の指導について講義をいただきました。全国学力学習状況調査のB問題をみると、今、子供たちにどんな力をつけることが求められているかが判る。その一つに「読み解き表現する力」があげられるが、今、学校で、「読解表現力」を養うのに説明文が適した教材であるという仮説のもとに研究を進めていると話されました。また、授業は子供を変えるもの、授業の前後で児童が

どう変わったのが教師自身の評価である、授業は真剣勝負との先生の強い思いが伝わってきました。

そして、丘樵三著「日本の子どもたちと、世界の子どもたち」を例に、「説明文の授業づくり」について具体的に解説していただきました。説明文を客観的に捉え、「筆者が伝えたこと」の要旨と「筆者の工夫」を見つける活動を通して、「①筆者の伝えたいこと」を正確に受け取る力 ②伝えたいことに対して自分の考えや感想を持つ力」を育てていく。そして、最後に「筆者に手紙を書く」という課題を与え、筆者に敬意を払って言葉を選び失礼のないようにきれいな字を心がけて手紙を書かせる。時間は7分間。書き切れなかったら宿題というのはダメ。はじめ短い手紙しか書けなかった児童も、繰り返しの訓練で書けるようになる。必ず入れるキーワードも最初は教師が提示するが、すぐに児童が見つけられるようになる。一時間の授業でこんな力を児童につけたいとの意図を持って授業に臨む大切さがひしひしと伝わってくる講義でした。



P3生の感想より

◆実際に授業を受けているような気持ちになる講義でした。教えることと考えさせることをしっかりと区別することが大切であることがわかりました。

◆国語科に限らず、学校の様子や教師としての心構え、児童に対する責任についてお話をいただき、学ぶことが多い講義でした。

◆「主発問」で授業が決まり、児童を変えられるかどうかが決まる。「主発問」の大切さがわかりました。「主発問」についてもっと学んでみたいと思いました。

◆教師が、著者や作者を好きになることで教材の魅力が変わり、子供に伝わるものが変わってくるという話に納得しました。

前期セミナーアンケート結果から

◆セミナー全般についての意見・感想

○先生方の体験に基づく話はとてもわかりやすく説得力があった。子どもを引きつける力、指導法、話術などについても教えてほしい。

○先輩方の体験談は、今後の学生生活や教壇に向けての指針になる話でもよかった。

○模擬授業演習では、同じ授業でも一人一人導入や展開が違い、授業の奥深さを感じることができた。

■教育実践総合センターでは、「学校現場が求める教師育成」の視点から、教育実践セミナー全体を通して、教員としての高度な実践的指導力や教育の今日的課題への対応力などを身につけるための講義や演習、様々なサポートを行っています。また、セミナーを通じてホットな話題を発信していきます。これからもセンターをどんどん活用して下さい。

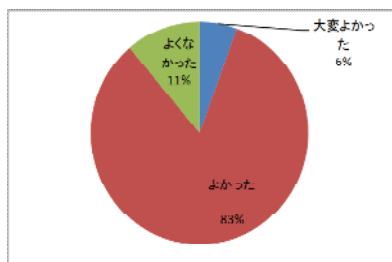
P1 論文指導始まる!

一年次「教採サポート」として、全十一回の論文指導が始まりました。学校や児童生徒を取り巻く様々な教育課題について、その背景を探り、解決方策などを具体的に、論理的に述べていくことを通して、教育に対する確かな認識や判断力や実践力を養っていきます。水曜日の全体指導で作成した論文文について、次の月曜日に少人数指導で添削指導、面接指導を行います。



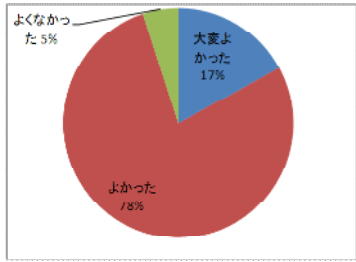
この練習は、教員採用試験における論文や面接試験対策だけではなく、学校現場で活躍する実践力につながります。課題は各回異なりますが、それぞれ独立したのではなく、最終的には、教育を取り巻く諸課題に的確かつ迅速に取り組みする総合力を培ってほしいとセミナーを行っています。授業実践開発コース、生徒指導実践開発コース、アドバンスプログラムのみなさんも奮って参加してください。

実践サポートの評価



実践セミナー(教育講演会・特別支援教育の実践・先輩からのアドバイス)に対する満足度(P1生)

セミナー通信の評価



セミナー通信に対する満足度(P1~P3生)

◆セミナー通信に対する意見・感想

○「先輩からのアドバイス」では、同じ教員採用試験でも自治体によって違うのだからと情報収集すること。学生時代にしかできないことをしっかりとやれなど、先輩方の体験に基づく貴重な話でもとても参考になった。

○学校現場で活躍されている先輩からの手記がとてもよかったです。教員になりたいという気持ちがありますます強くなった。

○日々の学内の様子だけでなく、教採に向けての話や教育法規に関する内容もあってとても勉強になった。

○兵庫県や神戸市以外の教員採用試験の情報も載せてほしい。